

現代社会学部現代社会学科 学位授与の方針

現代社会学部現代社会学科は、定められた課程を修め、厳格な成績評価を経て、以下の学修成果をあげたと判定される者に対して学士（社会学）を授与します。

<学修成果（教育目標）>

1. 社会に生起する諸現象に関心を持ち、諸現象の中から社会的な問題を発見し、分析し、適切なアプローチ方法を構築し、実践していくことができる。
2. 社会を形成する人びとの営みを「市民」という視点で捉えるとともに、社会の本質的かつ基礎的な理論を踏まえて、理解し、分析することができる。
3. 現代社会の成り立ちと変化・変動を、歴史的・世界的な枠組みから捉え、近代化とポスト近代化、グローバル化とローカリティ、少子化人口減少社会と超高齢化、格差と社会的孤立、価値規範の多様化と生きづらさ等の社会現象を、それぞれの現象の関連性と異質性において分析、考察することができる。
4. 「現場主義」を重視することにより、実証的な方法と行動力を身につけ、データの収集とその精査、分析を通し、事実への認識力を向上させることができる。
5. 混迷する社会に対し、21世紀を構想するビジョンを持ち、問題の解決に向けた具体的な提案をし、実行に移す自信を醸成することができる。
6. 「フィールドワーク」「現場体験」「プレゼンテーション」等を通して、他者と協働することにより、チームワークの重要性を認識することができるようになる。すなわち他者との協働を円滑にしている力を醸成することができ、そのことにより他者とのコミュニケーション能力を身につけることができる。

以上の学部学科全体の学修成果に加えて、各専攻において以下のような学修成果を定めています。

[社会学専攻]

1. 社会学的想像力を身につけている。社会学的想像力によって、従来の常識や枠組にとらわれずに、できるかぎり全体社会とのつながりのなかで、日常世界を理解できるようになる。
2. 「新しい社会」の仕組みを構想できる力を身につけている。社会の仕組みをどのように変えていけば

よいのか、構想・デザインできるようになる。

3. コミュニケーション能力を身につけている。諸問題の根本と解決策を、多くの人と共有するために、わかりやすく書き、話すことができるようになる。伝達方法が多様化する中で、IT やメディアも活用できる。

[コミュニティ学専攻]

1. コミュニティの現場で調べ、考え、実践する力を身につけている。さまざまなコミュニティにおける人のつながりの実際を調べ、その意味を理解し、説明できる力を身につけている。
2. 社会学、心理学の両方の学びを通して、実践的な知を身につけている。「集団」に注目する社会学と「個人」に注目する心理学とをともに学び、実践的な知識を養っている。
3. 実社会に役立つ力を身につけている。「現場」での経験を重視し、実社会で役に立つ力を身につけている。そのために重要なコミュニケーション力、すなわち、調査現場での協調性、情報収集能力、分析力、プレゼンテーション能力等を身につけている。

[社会福祉学専攻]

1. フィールドワークを重視し、理論と実践を融合する力を身につけている。実習、演習教育を主眼とし、福祉専門職としての力を身につけている。社会福祉士国家資格を取得するために必要な力を有している。
2. 共生のための新しいつながりを創る、主体性を身につけている。地域という現場において、つながりあい、共同する関係を創造する力を身につけている。
3. 社会に貢献するチームワーク力を身につけている。仕事を遂行していくためのチームリーダー力やチームワークを推進していくためのフォローアップ力を身につけている。

[国際文化専攻]

1. 文化人類学を基礎とし、人間の営みを「文化」の観点から理解できる。「文化」という営みを中心に捉えつつ、新たなつながりを創出できる。
2. モノへのまなざしを身につけることができる。モノの先にあるひとの暮らしを理解できる。
3. フィールドワークを通して、現代社会の諸問題を具体的に理解し、説明できる。さまざまな文化をつなぐ事ができる。